



加古だより

加古小学校通信
令和4年12月号
No.31 (304号)

加古小のみんなが、加古地区を良くする！

校長 吉田 博明

<地域の方から、感謝の言葉！>

先日、地域の方が学校に来てくださり、学校長に話があるとのことでした。どんなことだろうと思って、お話を伺いました。すると、こんな内容でした。

昨日の夕方、その方の飼い犬が迷子になってしまいました。夕方の帰宅する車で交通量も多く、非常に危険な状態だったそうです。そんな交通量の多い道路で困っていた犬を、加古小学校の子どもたちが見つけ、安全なところへ連れて行き、守ってくれたのだそうです。たまたま通りがかった人が警察に通報し、駆けつけた警察の方に引き渡し、無事飼い主のもとへ帰ることができたということでした。

その方はとても喜んでおられ、「もし加古小の子どもたちが守ってくれなかったら、うちの犬はどうなっていたかわかりません。」と感謝の言葉を話されました。「こんなことを言いに学校へ行ってもいいのだろうか？」と悩まれたそうですが、「数日前に北中で行われた育成協の講演会で、『地域で子どもを育てることの大切さ』を聞いたのを思い出し、勇気を出して校長先生に話に来ました。」とのことでした。その前日、数名の子どもたちが、「今、迷子になっていた犬を助けて、警察に引き渡した！」と、興奮気味に報告してくれていたもので、地域の方のお話がすぐにわかりました。みなさんのちょっとした優しい行いが、地域の方を幸せにするのですね。校長先生も褒めていただいてとても嬉しかったし、みなさんのことを誇りに思います。ありがとう！

<他にもとんとん素敵な行動が！>

その他にも、素敵な行動が増えてきています。一度学校だよりでも紹介した、横断歩道で待ってくれた車に対する、感謝の礼。今では、多くの地区の交通班長、副班長さんが、帽子を取って、止まってくれた車に礼をしてくれています。小学生が、帽子を取って礼をしてくれると、運転手さんも爽やかな気持ちになっていると思いますよ。

また、トイレから出てきた人が、自分が使った以外のスリッパもきれいに揃えてくれているのを、いろんな学年で見えるようになりました。先日一年生がお世話になった、地域の畑での大根引き。とっても大きな大根を抱えて学校まで帰るだけでも大変でした。でも、そんな中、他のお友だちが落としていった大根の葉っぱを拾いながら帰ってくれる人がいました。そのままにしていたら、道が葉っぱで汚れてしまうところでした。いろんな人の優しい行いに、感謝の気持ちでいっぱいです。

<お知らせ> 保健室に生理用品を備えています。もし忘れて困った人がいたら、藤井先生のところへ相談に行きましょう。